

願い事が叶いますように 上ノ国保育所七夕の集い

7月1日から7日にかけて、天の川橋の欄干に上ノ国保育所の子どもたちが作った笹飾りが展示されました。

子どもたちは6月から輪飾りや三角飾りなど色とりどりの飾りを作り、保護者や先生の手を借りながら、短冊に思い思いの願い事を書きました。天の川橋まで笹を運ぶ時は、時折吹く強風で笹を落とさないよう一生懸命に運んでいました。

また、5日には、道の駅上ノ国もんじゅで上ノ国保育所の子どもたちが笹飾りを作り、正面玄関前

に展示しました。

子どもたちは、道の駅職員が用意した飾りや、道の駅を訪れた人々が書いた短冊を一つ一つ丁寧に飾り、飾り終えた後は、飾り付けを見守っていたカミゴンに童謡「たなばたさま」を披露しました。

7日は、上ノ国保育所で七夕を祝う「七夕の集い」が開催され、子どもたちは七夕伝説の紙芝居や、天の川、天の川かさぎロードなどの町内にある七夕にまつわるお話に真剣に耳を傾けました。



大盛況の行灯行列 第40回上高祭

7月9日、10日、上ノ国高校で第40回上高祭が開催され、生徒や保護者が年に一度のお祭りを楽しみました。

9日には、3年ぶりに行灯行列が行われ、各学年の生徒たちは、特製の行灯を担ぎ町内を練り歩き、夜には内蔵のライトで行灯を照らし、昼間とは異なる姿を披露し、町民を楽しませました。

10日は、校内でステージ発表が行われ、新型コロナウイルス感染症対策として歓声は上げず、代わりに拍手やケミカルライトを振り、会場を盛り上げました。



上中学生大躍進 檜山中体連大会

6月11日と、7月1日から6日までの間、檜山中体連大会が檜山各地で開催されました。

上ノ国町スポーツセンターではバスケットボールが行われ、上ノ国中学校男子バスケット部は乙部町との合同チームで出場し、初戦は大きく点差をつけて勝利し、決勝へ進みましたが、決勝戦では惜敗し、準優勝となりました。

陸上個人、柔道団体・個人、女子バレーボール、卓球男子団体・男子個人・女子個人において全道大会出場が決定し、活躍が期待されます。

